

2017/12/29

神代植物公園

植物多様性センターの「縁起のいい植物」

正月に飾られる縁起のいい植物には、厄除けや招福の願いが込められています。松竹梅は松の常緑性に生命力を、竹は成長力を、そして梅は他に先駆けて咲く花を愛でます。注連飾りに使われるウラジロは夫婦円満と清い心を、ユズリハは世代交代の祈願。難を転ずると言われるナンテンや、お金の名前を持つマンリョウ(他にセンリョウ、ジュウリョウ等)は庶民のささやかな願望の表れでしょうか。飾るときは28日迄に。29日では二重苦に、31日は一夜飾りとして縁起が良くないとされます。今年も大勢の方にお越し頂きありがとうございました。皆様も良いお年をお迎え下さい。



クロマツの新芽、脇の毬果はあと2年かけて成熟する



名前がめでたいマンリョウ
実が白いシロミノマンリョウも



フクジュソウとセットで
「災い転じて福となす」ナンテン



紅色を帯びたユズリハの冬芽
葉腋の丸い芽は花芽